



会報

やまぐち

No. 47

平成2年

8月発行

第43回定時総会開催



山口県土地家屋調査士会

第43回定時総会開催

平成27年度定時総会が、5月29日小郡町の山口グランドホテルで開催されました。連合会自家共済制度改定に伴う措置の決議について、活発な意見が出されました。総会終了後、土地家屋調査士制度制定40周年記念事業が行なわれました。



表彰おめでとうございます

1. 平成27年度山口県土地家屋調査士会会長表彰者

永年表彰

岩田支部	宮本 克巳	山口支部	野村 幸人
＊	大橋 義二	＊	本田 富夫
＊	朝原 元	＊	吉田 正幸
＊	藤田 田	＊	穴田 美晴
＊	好本 憲	萩支部	長田 清勝
＊	熊谷 賢	＊	吉田 大
徳山支部	新保 茂	下関支部	柴田 次介
＊	久保 本	＊	高田 栄
防府支部	杉本 富士男	＊	大藤 栄
＊	徳本	＊	

2. 平成27年度山口地方支部長表彰者

(1) 功績表彰

宇部支部	織田 義介	徳山支部	藤角 克巳
下関支部	楠木 栄省	＊	福岡 万悦
		防府支部	林 有金
		＊	八木 次
(2) 永年表彰		山口支部	綿谷 義
岩田支部	中村 孝人		

山口支部	豊田 美祿人	宇部支部	酒井 誠一
萩支部	本田 薫	〃	藤井 匡晴
宇部支部	武田 光夫	下関支部	川原 長夫

3 平成2年度日本土地家屋調査士会連合会会長表彰者

徳山支部	兼川 良介	
岩国支部	岡山 武臣	
宇部支部	平山 正昭	
下関支部	高野 成雄	
萩支部	三好 敏夫	(連合会役員退任感謝状)



信頼をお届けします

UBEX

株式会社ウベックス

本社 電宇部(0836) 21-1147
 下関営業所 電下関(0832) 22-0113
 山口営業所 電山口(0839) 23-0380

FUJI XEROX

取扱商品

- 複写機(ゼロックス)
- ワークステーション
- ファクシミリ・ワープロ
- パーソナルコンピューター
- オーバーヘッドプロジェクター
- その他O A関連商品

宇部営業所 電宇部(0836) 21-1147
 防府営業所 電防府(0835) 21-7771
 萩営業所 電萩(08382) 6-0431

近頃思うこと

会長 新本清人

一瞬が非常に長く感じられる事もあれば人の一生が一瞬の束の間の如く感じられる事もあるだろう、これは私のシベリヤに於ける捕虜生活の2年余に及んだ地下3000尺と言われた炭鉱の作業中停電の合間にフト感じた時の思い出であって45年も以前の事である。石炭の層は何億年もの昔、繁茂した大森林が突然地下に埋設し石炭と化したもので炭化したその樹齢は古く、巨木の年輪を目にして、ジツ捕虜の身である自己を省みてこんな辛い酷寒の地に食べ物も少なく厳しい重労働に只々堪える苦しみは何であろうか、このままこの地に朽ち果てるのだろうか、そんな考えに耽っている時、人間の一生なんてこの大きな大自然の変化と、何億年にも達する年月から見ればほんの一瞬の出来事ではないだろうと考えたこともあった。地下に埋没した巨木もその儘化石となり石炭として今掘り採られる時、その炭層を坑内灯のキャップランプの光りに映えて樹木の年輪を一つ一つ数えられる状態に対比して、山口県の誇る秋芳洞の鐘乳石が水滴の一つ一つを長い年月を重ねて作る石筍の生まれ来る様を知ったのはあの苦しかったシベリヤ生活を終えて帰国してずっと後のことであ

る。

この様に物の考え方や立場、角度を異にして物を見る、考える、判断することの大切さを知ったのも近頃のことである。色々な経験からようやく物の見方も色々あるなと考える様になったもの。又こんな事も考えてみる、何時も通る道路国道2号線で自分の運転する自家用車の窓から見る外景はそれぞれ四季折々その風情は変わっても形状その他は大した変化には気付かないが或る時突然大型バスに乗り2階の車窓から眺める外景はアレあんな所にあの様な物があつたのかと驚く程の事を発見することがある。何時も使う新幹線ひかり号で見る車窓も、或る日グランドひかりの2階席に乗って見る外観は視野が甚だ広く遠望することができるもの。又物の見方の狭少さや偏見のあつた己を反省することも屢々である。

調査士会の役員として過去をふりかえって見、理事であつた頃、副会長として会長を補佐した頃と会長職を拝命してからでは物の考え方や見方に大きな開きのあることを自覚したのもよき人生の経験を与えて戴けたものだ感謝する毎日である。

—支部だより—

復元測量研修

宇部支部 鶴巻 栄一

平成2年8月25日、26日と2日間にわたり厚狭郡山陽町津布田平松「村上旅館」において第2回支部研修が開催された。

研修内容は国土調査済地域内における復元測量で瀬口潤二会員が講師にあたった。1日目は復元の対象となる筆界の生いたちから現在に至る経過が話され復元の作業手順等が説明された。

続いて4班に分かれ2ヶ所を2班づつが復元することにした。地籍図より筆界の読み取りを行った後現場（厚狭団地）の周辺で基準点探しを行ったところ結構よく残っていた。

2日目は下見した現地におもむき基準点より読み取りしたデータにより各班それぞれ復元した結果2ヶ所とも20～30cmの差を生じた。

再度旅館に戻り岩国支部沢瀬清治会員より地籍図にまつわる色々な話し、測量の経験談など歯切れ良い話し方に興味深く聞き入りました。

会場は瀬戸内海に面し知る人ぞ知ると言った素朴な宿で料理は海の幸が一杯。

残暑厳しい中30人以上の出席があり宿泊者全員が雑魚寝したのも良かった。



シャベルで掘るか、手で掘るか

広報部 田中 拓 朗



5月の本部総会、そして8月の支部総会と、例年の大きな行事が終了しホッと一息ついてきた7月の末、三好企画部長から、8月8日に企画合同委員会を行なう際、おもしろいデモンストレーションがあるので、是非取材してみたらと連絡があり、好奇心旺盛な私は、ワクワクしながら当日、山口に車を走らせました。

司訓会館に着いた時、ちょうど本部及び支部の企画委員さんが、ミーティングを済ませ、デモンストレーションの行なわれる山口駅構の広場へ移動中でした。私も、それに付いて現場に行き行ってビックリ。なんと、かわいいと表現したらピッタリの超ミニシャベルがそこにありました。いわゆるラックッパ感覚で使えるミニシャベルという感じです。われわれの日頃どうにかならないかと思っているコンクリート杭の埋設に利用できないかというのが今回の狙いです。メーカーは神鋼コベルコ建機株式会社、だいたい住宅建設関連の小規模基礎工事、上下水道工事、ブロック塀の根切り工事用に開発さ

れたようです。特長は、重さ275kg（大型バイク並み）、幅50cm、動力はガソリンエンジン、そして、移動は軽トラックで、簡単にできるというものです。値段は約100万です。

さっそく、販売店の人の実演です。第一印象としては音が静かで移動がスムーズ、そして操作が簡単だなと思いました。羅かに、平坦地で何十本ものコンクリート杭を埋設するには、大変便利なものです。しかし、杭の埋設場所は、コンクリートブロック塀の根もと等、どうもこのシャベルでおもいっきり掘る場所が少ないような気がしますし、このシャベルの移動に、軽トラックの購入が必要で二重の経費がかかります。こういうものがあるよと、見るのにはとてもおもしろいのですが、導入にはいま一步という感じでした。又、同時にミニアースドリルという小型エンジンを搭載したコンパクトな穴掘り専用の機械の実演も行なわれましたが、大きな石があると掘進能力が落ちるなどこれも問題が多いようです。値段は約20万です。

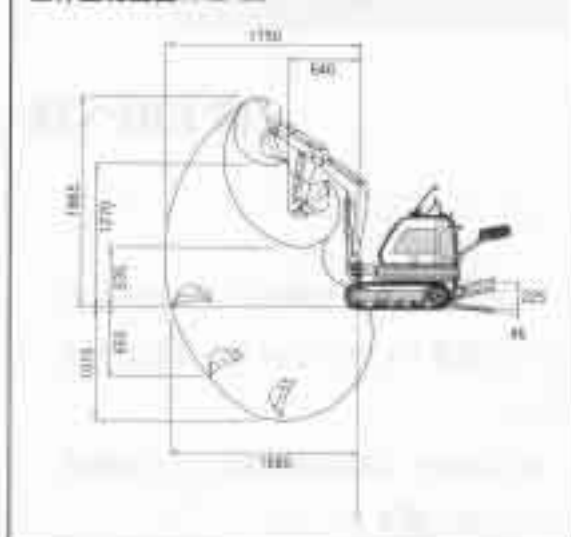
シャベルで掘るか、手で掘るか、やはりオールマイティなコンクリート杭埋設方法は、手廻りが一番かなと思いますが皆さんも日々これには悩んでいらっしゃるでしょうが、お互いコツコツとがんばるしかないのでしょうか？



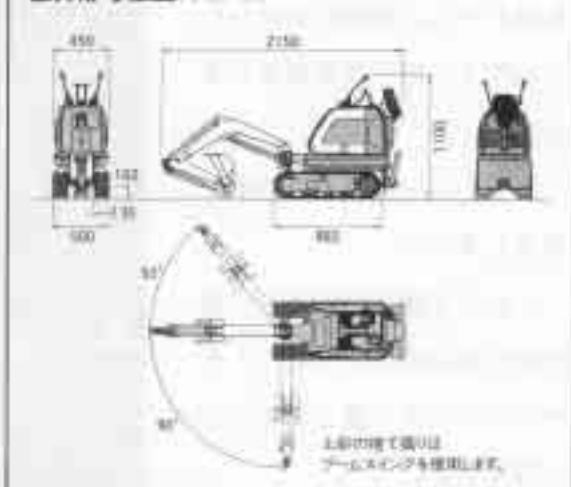
■仕様

●性能		
バケット容量	m ³	0.027
バケット幅	mm	230
走行速度	km/h	1.4/0.8
ブームスイング速度	sec	3.7
登坂能力	%	47(25°)
掘削力	kg	140
●寸法・質量		
機体質量	kg	275
全長	mm	2150
全幅	mm	500
全高	mm	1100
ブームスイング角	度/L	50°/90°
ブローア全長	mm	965
ブローア幅	mm	500
レール幅	mm	130
接地圧	kg/cm ²	0.17
最低地上高	mm	105
●エンジン		
形式	空冷4サイクル直列4気筒	
定格出力	PS/hp	3.3/1000
燃料タンク容量	ℓ	8.5
●油圧装置		
ポンプ形式	ギヤード	
設定圧	kg/cm ²	190
作動油タンク容量	ℓ	7
●走行		
走行形式	メカニカル	
●作動範囲		
最大掘削半径	mm	1750
最大作業半径	mm	1600
最大掘削深さ	mm	1015
最大垂直掘削深さ	mm	655
最大掘削高さ	mm	1865
最大ダンプ高さ	mm	1270

■作動範囲図(単位:mm)



■外形寸法図(単位:mm)



—フォーカス'90—

富士山へ登ってみよう

岩国支部 河村 誠

新五合目から登り始め、3時過ぎに九合目に到着し、その日はそこで泊まりました。

朝4時半に山小屋を出発し、1時間ほどで山頂へ着きました。

雲海を下に見ながら、下界を見おろし、御来光を拝むことができ、好天気を感じました。

明るくなった頃から山頂を旨ざしました。

これは、最高峰にある「剣ヶ峰」の石碑と「三角点」をバックにして、撮ってもらった写真です。

合羽を着ているのは、風よけと保温のためです。

高山病で、後頭部が重く、火口を一周する気力は無く、すぐに下山しました。

今は、一週間できなかったことを後悔しております。

皆さんも、思い当たったら登山されたらどうでしょうか。

「富士に登るバカ、登らぬバカ」ということわざがあるそうです。



ちょうちんは

いくつある？

(山口市 ちょうちん祭り)



そろそろ行楽シーズン

ハイキングに行ってみませんか

(美東町・秋芳町・秋吉台)





RICOHのイメージ情報処理技術が、明日の統合OAシステムを実現します。



技術と サポート力で お役立ちの RICOH

お問い合わせ

山口リコー株式会社 0839(27)4530
0839(27)4440

リコーテクノネット株式会社 0839(23)2477

CAテレフォンセンター WP 082(248)1298
P/Nコン 082(248)9217

ご用命は…

本 社	徳山市大字徳山6-7-6-1 〒745 ☎ 0831-31-1123
O.A.プラザ徳山	徳山市舞鶴町3-4-0 〒745 ☎ 0834-31-0769
徳山営業所	徳山市南町6-20-5 〒747 ☎ 0830-22-2327
山口営業所	山口県大字下関2丁目720-10 〒753-02 ☎ 0839-27-4440
熊野営業所	山口県大字下関2丁目720-10 〒753-02 ☎ 0839-27-4440
萩営業所	萩市土居3-7-1-6 〒758 ☎ 0838-23-9572
宇部営業所	宇部市松町2-3-25 〒755 ☎ 0830-31-6111
下関営業所	下関市一宮町2-14-13 〒751 ☎ 0832-56-0009

公嘱調協会 第5回通常総会 盛会裡に終る

公嘱調協会の第5回通常総会が平成2年8月4日（土）、小郡町山口グランドホテルにおいて開催されました。

当日は来賓に山口地方法務局佐藤局長をはじめ中国財務局山口事務所、山口県住宅供給公社、西日本旅客鉄道（株）、小郡町、中公連協議会、公嘱司協会、調査士会の関係機関から主賓17名のご来賓をうけました。

また、社員は折角の土曜日にも拘らず56名の出席をいただき、みなさんの協会運営に寄せられる関心の深さ、期待の大きさにはひしひしと胸を打つものがあった。改めて責任の重さを痛感いたしました。

議事の

- 1 平成元年度事業報告並びに収支予算承認の件
- 2 平成2年度事業計画案並びに収支予算案承認の件

については社員から活発な質疑・意見等の提言があり、真剣かつ熱心に審議が行なわれた結果、挙手多数によって可決承認されました。

式の掉尾には感謝状の贈呈が行なわれ

①徳山市基準点設置作業の功績に関して

佐藤山口地方法務局長より竹内理事長に、
②協会顕彰規則に基づく功勞者に対して、竹内理事長より西山社員にそれぞれ感謝状が授与され錦上花を添えることになりました。

総会終了後の懇親会では来賓、社員大勢の出席を得て、誠に華やかで賑々しく歓談にこれつとめる者あり、カラオケに打興じる者ありでムードはいやがうえにも盛り上りましたので、この意気さえあれば平成2年度の計画達成は先ずはOKと確信したような次第です。（白井記）

◆入会職員のお知らせ

8月2日付、下記の職員を採用しましたのでお知らせします。（8月21日開催の理事会で承認）

氏名	坂本 進
生年月日	昭和6年4月19日（59才）
現住所	山口市湯田温泉6丁目7-1-4
最終学歴	S 33 3 山口大学経済学部 専攻科卒業
職歴	S 63 3 山口県共済農協連 （管理部長・検査室長を歴任） 定年退職

どうぞよろしく



随 想

三浦大^{おお}介^{すけ}百六つ 周防三浦外史

事務局 嘉村 復 亮

「三浦大介百六つ」……幼いときから折にふれ耳にしてきた郷土仁保の俚諺である。謎めいた文句で、これが何を意味しているのか判らないまま、子供の遊びの世界にも登場したものであった。三浦大介の長寿にあやかって他人の長命を祝う言葉として人口に膾炙していったという説があるが、この俚諺は、鎌倉時代以来800年の歳月を生きてきて、その間、新築祝の口説や豊年踊の文句にも取り入れられており、その生命力の強さには驚異を感ずるものがある。

三浦大介は相模三浦では三浦介義明として関東八平氏の間から頭角を顕していた。源頼朝挙兵のとき、源家再興を願って頼朝を助け、89才の老軀を押し三浦半島衣笠城に立籠って奮戦し、城を枕にして討死している。

その後の相模三浦一族は鎌倉幕府の有力な御家人となり、和田義盛は侍所別当として鎌倉武士最高の地位についていた。

しかし、源氏の運命が短命であったように、三浦一族の繁栄も長くは続かなかった。先づ和田義盛が北条高時によって討たれて和田一家滅亡、また三浦泰村が北条時頼によって討たれて三浦一家滅亡。ここに相模三浦氏は華やかな鎌倉の歴史の舞台から姿を消した。相州三浦氏400年の長い歴史からみれば頼朝挙兵以後三浦泰村滅亡までの間は、僅か70年の短い

年月であった。

周防三浦の三浦大介は周防三浦の祖、平子重経である。建久8年(1197年)源頼朝から仁保庄と恒富保の地頭職に補任されて武蔵国平子郷から周防国に下向周防仁保庄を本拠地として以後800年にわたる周防三浦氏の歴史が始ったのである。

周防三浦氏はその後、大内、毛利の時代を通して、進退を誤らず所領を保持して明治に及び連綿として今日までその家系を維持してきている。鎌倉時代以来保持してきた文書は、昭和12年36代当主の経太氏がその重要なもの182点を東京大学史料編纂所に寄託し、その後、東京大学から「大日本古文書、家わけ第14」三浦家文書として公刊されている。現在では、その文書は山口県文書館に移されており、その他の文書272点とともに山口県文書館に保管されている。

なお、周防三浦氏が山口市仁保の地に本拠地を構えていたのは約400年間で、慶長5年の関ヶ原の戦の後、毛利氏の防長二州への減封、萩移住後、24代元精は居を萩に移し、以後明治に至るまで毛利藩士として萩で過している。

平子重経は元仁元年(1224年)9月14日逝去。建久8年仁保入部の後27年を経ている。仁保源久寺は重経が建立した寺であるが、そこには現在重経の木像及び墓が遺されている。墓は鎌倉時代の



館 久一寺

立派な宝篋印塔である。

「三浦大介百六つ」の源流が山口市仁保以外のどこで伝承されているのかつまびらかでないが、三浦氏の所領地ではどこも同じように伝承されているものとみられる。また三浦氏は仁保に本拠地をおき、一時仁保姓に改姓していた関係で、現在地名で仁保のつくところ（広島市仁保町もその例である）、人名で仁保姓を名乗っている人は、何らか三浦氏に関係ありとみてよいようだ。今、初期三浦氏の代表的な所領地を挙げれば、長門三浦、高佐、紫福、周防樺井、麻合などがある。

相模三浦の全盛期、三浦義村・妻村時代は相模国の他、紀伊、河内、讃岐、土佐の守護であったが、これらの国では「三浦大介百六つ」の源流伝承は如何であったろうかと思っている。

（追記）

- ① 5月29日、制度制定40周年記念式懇親会の席において、偶然のことから連合会三浦会長さんが土佐三浦氏の

出自であること、「三浦大介百六つ」の源流もご存知のことをお聞きしたが、残念ながら詳しいことをお聞きする時間がなかった。

- ② 先般仁保法雲院訪問の機会があった。ここには周防三浦氏20代、仁保隆在の墓（宝篋印塔）がある。

なお20代当主、三浦俊輔氏は洋画家として東京に在住、活躍されているが、法雲院に俊輔画伯の作品水辺の鯉一組がある。



平子重経の墓
（山口県指定文化財）

—支部だより—

懐しきもの

宇部支部 鶴巻栄一

今年の5月の連休に事務所の改装をした時そのための準備整理をしたところ手動計算機、普通のアリゲード、測角望遠鏡つきアリゲード、旧形トランシットが出て来ました。

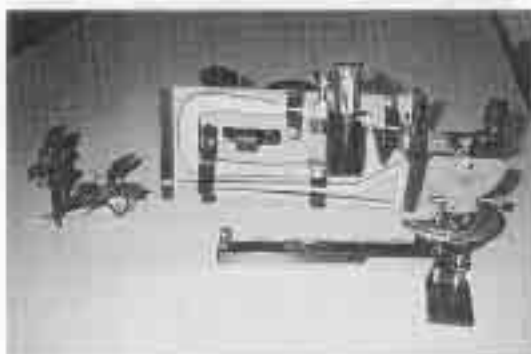
長い間見ていないと懐しく使用した時期の事や現場が思い浮びました。

普通のアリゲードは昭和45年頃迄使用その後55年迄測角望遠鏡つきアリゲードをそして20秒読みトランシットから元波測距機と組み合わせるトランシット、次に光波と一体化されたトランシットと移り変わり旧式のトランシットは昭和38年から43年にかけて山林、普測測量と広範囲の測量のみに使用していました。又、計算機も測量機器の発達に平行し電卓は（昭和39年に登場し価格¥58万円）多種多様で高機能化され同様に我々業界もコンピューターシステム導入が通常とされる昨今時間の経つ速さにおどろくばかりであります。

平板測量では水平、致心、定位、プロットと比較的技術を必要としたように思

い、トランシットは水平、致心だけです。平板は作図測量、トランシットは数値測量と測量の目的に応じそれぞれ使用されるもので、みやすい、難しい、好嫌いなど言っていたのは昔のこと。

ただ、トランシット測量が主流の今日その野帳データーを活かし100%コンピューターを駆使出来るよう心掛けてます。



事務局だより

会務報告

- 6月 2日(土) 下関支部総会
 7日(木) 中B会長会
 " " 防府支部総会
 16日(土) 岩国 "
 " " 徳山 "
 " " 萩 "
 " " 宇部 "
 19日(火) } 日調連定時総会
 20日(水) }
 23日(土) 山口支部総会
 25日(月) 総務部会
 7月 15日(日) 企画部会
 27日(金) 法司調三者協議会
 8月 2日(木) 企画委員会
 6日(月) 広報部会
 10日(金) } 中B会長会
 11日(土) }
 18日(土) 企画部会
 26日(日) 司調共催囲碁大会
 28日(火) 総務部会

行事予定

- 9月 8日(土) 40周年記念特別研修会
 中・下旬 証紙等点検調査
 27日(木) } 中B定時総会
 28日(金) }

会員異動状況

1. 会員入脱会状況

支部	氏名	年月日	入脱会
徳山	野坂政一	2.5.21	入会
"	戸倉茂雄	2.7.2	"
宇部	中原悟	2.5.25	脱会

2. 事務所変更他

支部	氏名	変更事由	年月日
宇部	松岡正巳	事務所変更	2.8.1
小野田市大字東高泊1405番地の1			



部会よりのお知らせ

土地家屋調査士制度制定 40周年記念誌についてのお願い

広 報 部

さて、次号11月号は、既に予定で御報告しておりましたとおり、制度制定40周年記念の特別号として、発行いたしますが、その中に写真入りの会員紹介をいたしますので、下記の要領で御回答いただきますようお願い申し上げます。後日、郵送にて用紙を送付いたしますので、速やかに御返送下さい。

会員名	支部																				
<div style="border: 1px solid black; width: 80%; margin: 0 auto; padding: 10px;"> <p style="text-align: center; font-size: 2em; margin: 0;">写 真</p> </div>																					
コメント																					
<table border="1" style="width: 100%; height: 30px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 12.5%;"></td><td style="width: 12.5%;"></td><td style="width: 12.5%;"></td><td style="width: 12.5%;"></td><td style="width: 12.5%;"></td><td style="width: 12.5%;"></td><td style="width: 12.5%;"></td><td style="width: 12.5%;"></td><td style="width: 12.5%;"></td><td style="width: 12.5%;"></td><td style="width: 12.5%;"></td><td style="width: 12.5%;"></td><td style="width: 12.5%;"></td><td style="width: 12.5%;"></td><td style="width: 12.5%;"></td><td style="width: 12.5%;"></td><td style="width: 12.5%;"></td><td style="width: 12.5%;"></td><td style="width: 12.5%;"></td><td style="width: 12.5%;"></td> </tr> </table>																					

マス目40ケとする

要 領

- 1) 写真はカラー写真です。
- 2) 用紙に会員のスナップ写真をはって下さい。
- 3) スナップ写真は、各会員の人物写真とし、会員個人で写したものの、事務所前で写したもの、家族で写したもの、補助者と一緒に写したもの、旅行中に写したもの。思い出の写真等なんでもかまいません。
- 4) コメント欄には40字以内に、自分のメッセージ等自由に書いて下さい。
- 5) 締め切りは10月10日までとします。
- 6) なるべく内容の良い記念誌を作るため、広報部全員ががんばっておりますので必ず締め切りに遅れないようよろしくお願いします。

又、40周年に際しまして、各会員の方の随想も募集いたします。記念誌に採用いたしますので、ふるって応募下さい。字数に制限はなく、写真入りもOKです。尚、締め切りは10月10日といたします。よろしくお願いします。

目 次

第43回定時総会開催	2
「近頃思うこと」新本会長	4
支部だより(下関支部)	5
「シャベルで掘るか、 手で掘るか」	6
フォーカス 90	8
公嘱協会総会開催	10
随 想	12
支部だより(宇部支部)	14
事務局だより	15
部会よりのお知らせ	16

発 行 山口県土地家屋調査士会
山口市駅通り2丁目9番15号
電 話 (0839) 22-5975
FAX (0839) 25-8552
販 替 下関 9-11085

発行者 山口県土地家屋調査士会
会 長 新本浩人
広報担当副会長 竹内重信
広 報 部 長 田中拓朗
部 員 鶴巻栄一
* 野上茂樹
* 河村誠一

印刷所 桜プリント企業組合
山口市旭通り1-1-6
電 話 (0839) 22-1712

表紙のことは

お船頭(萩市高崎)

「お船頭」は今から424年前毛利元就が安芸(広島県)の宮島に海軍を攻め滅ぼした時の戦勝の歌で、毛利藩の御座船頭として藩主が乗船する時や新造船が進水する時などに唄われた。昭和43年山口県無形文化財に指定された。

